紳士服の整形仕上げの基本を明文化

日本テキスタイルケア協会公式教材よる商品開発

紳士服の背広やウール、カシミヤのコート類の多くは、立体的な整形仕上げが施されており、着用やウエットクリーニングによって整形性が失われていわゆる型崩れが起きる。

テーラーによって組織されている東京都洋服商工協同組合では、このような型崩れに対するメンテナンスサービスを「修理」として、メニュー化しており、プレス料金を背広上着 7,000円、スラックス3,000円、コート 10,000円とする「紳士服標準修理工料表」を作成し、紳士服テーラーで掲示するようにしている。この料金は、あくまでもプレスのみのものであって、クリーニング料金は含まれていない。

整形仕上げが、本来テーラーの仕事であったのには、製造時に特殊な技術によって立体的に加工していることにある。例えば、肩の部分での前身頃と後見頃との縫製では、後見頃部分を平均的日本人の体形の場合は 1.5cm程度後見頃の生地を幅広くしながら、前身頃の幅に合わせて縮めるようにいせ込んで整形している。この他、ラペル（衿）や脇などあらゆる部位に伝統的な立体成形の技術が施されている。

●ウエットクリーニングによる整形の解除

日本の気候風土では、上着に汗が浸透することは避けることはできない。このようなことから、日本のクリーニング業にあってウエットクリーニングは必須の工程として位置づけられる必要がある。

しかし、ウエットクリーニングのために水中に漬け込むことによって紳士服全体に施された整形が解除されてしまうことになり、肩のいせ込みの例を挙げると、縮めていた後見頃の縫製部分が本来の幅に戻るので、生地が伸びて波打つことになる。しかし、クリーニング現場の多くは「しわ伸ばし」という作業によって、紳士服の形状を破壊しているのが実態であるといえる。

●整形仕上げによる復元技術商品としての明確化

一般社団法人日本テキスタイルケア協会では、「整形仕上げ」について、この技術はクリーニング業法に規定する「クリーニング」のプロセスには該当しないということを経済産業大臣及び厚生労働大臣に照会し、2015年9月14日に両大臣はこれを認め、経済産業省によって「繊維製品の品質維持・復元技法に係る取扱いが明確になりました」として公式に発表された。これは、クリーニング料金に含められるプロセスとは別の価値ある専門的な技術として分離させるということを目的としたものだ。このことによって、独立した高付加価値なサービス商品とし、縮小し続けるクリーニング市場の新たな需要拡大を期待するものだった。

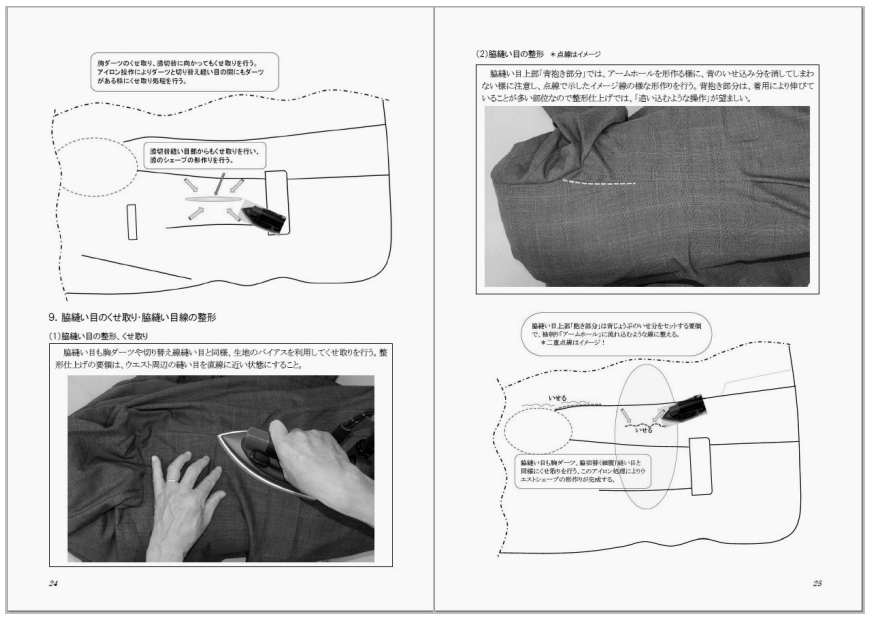
●整形仕上げの定義と体系化を明文化する

この政府による公的な発表に対して、重要なのは社会的に「整形仕上げ」を定義し、またその作業を体系化するということだ。一般社団法人日本テキスタイルケア協会では、このために公式なテキストとして『紳士服の構造と整形仕上げによる復元技法』を作成することとした。

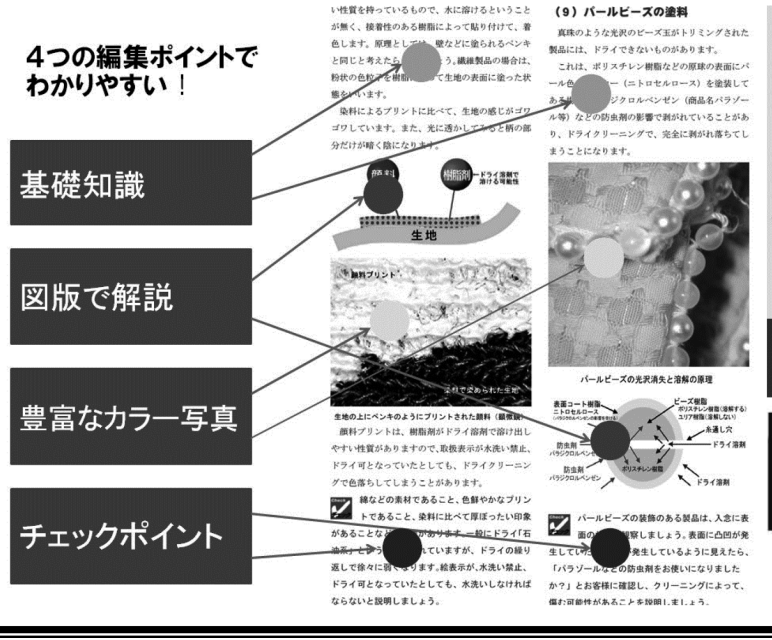
執筆には、三島アパレル技術研究室の三島良弘氏に依頼した。同氏はテーラーとしての経験もある一級紳士服製造技能士であり、また繊維製品品質管理士（TES）として幅広くアパレル業界の品質管理の指導に当たっている。同氏は約20年前から、クリーニング事業者を対象にウエットクリーニング後の整形仕上げを、紳士服の構造をもとに理論的に解説しながら、実務作業の講義を続けている。

現在編集中の協会公式教本『紳士服の構造と整形仕上げによる復元技法』の編集構成は以下のようなものとなる予定だ。

第１部　紳士服の構造と縫製の概要／第２部　整形仕上げによる復元技法／第１章　水及び蒸気による親水性繊維製品への影響／第２章　ウエットクリーニング後の紳士服の状態／第３章　整形仕上げによる復元技法／付録　紳士服に関する専門用語辞典／



2018年改定増補版　**繊維製品ダメージチェック　980円**



素材や加工の知識をもとにした衣料品疲労診断
クリーニング工場・受付担当者必携
■住連木政司編著　■品質情報研究所刊
■オールカラーオフセット印刷
■A4判（210×297mm）本文56ページ
■定価 980 円（消費税別）
研修特価（会社団体一括購入、送料実費）
10 冊以上　単価 880 円　30 冊以上　単価 830 円

お問い合わせはかなめ流通グループ会員まで

KNM GROUP
かなめ流通グループ

〒101-0043　東京都千代田区神田富山町 8 番地アツミビル 6 階
電話 03（5295）0135　FAX03（5295）0130